

2019年 迎春



桜川市議会 議長
にへい みのる
仁平 実



桜川市長
おおつか ひでき
大塚 秀喜

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、それぞれの感慨や抱負を胸に、新たな年をお迎えになられたことと存じます。
また、日頃より、議会活動に對しまして、ご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
さて、本市におきましては、時代の流れの中で避けては通れない、少子高齢化による人口減少の問題をはじめとし、多くの課題もございます。
昨年は、適正な教育環境の整備が必要となっている状況の中、施設一体型の義務教育学校桃山学園の開校や、開発が進む大和駅北地区においては、さくらがわ地域医療センターが開院し、医療の充実、そして、今後のまちづくりの核となることへ、大いに期待をされているところでございます。

我々議会といたしましては、市民の皆様のご意見を真摯に受け止め、本市が抱える課題と向き合うとともに、活発な議論を通じて議会審議の一層の活性化に取り組み、議決機関としての責務を着実に果たしていきたいと考えております。
さらに、市民の福祉向上と本市の未来のために、必要な施策については、市執行部としっかりと連携・協力をした中で、議会活動を行って参りますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、本年が明るく希望に満ちた一年となりますことと、市民の皆様お一人おひとりのご多幸を心からご祈念申し上げます、新年にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。
また、日頃より市政全般にわたり多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
二期目の市政運営に携わらせていただき、早1年3か月が経過いたしました。その間、小中一貫教育を行う義務教育学校「桃山学園」が開校し、さらに、地域医療の柱となる「さくらがわ地域医療センター」も開院いたしました。
一方で、国際交流事業として、フィリピン共和国バコール市と友好交流都市協定を締結し、ICT技術を活用した英会話交流事業では昨年の岩瀬小学校に続き、桃山学園でも交流が始まりました。

本年は、10月に「いきいき茨城ゆめ国体」が開催され、本市はライフル射撃競技が会場となっております。全国から訪れる方々をおもてなしするとともに、市民の皆様と協力して大会を成功させたいと思います。
さらに、市内に自生するヤマザクラ約55万本を活用したまちづくりを推進し、桜川市第2次総合計画の将来像に掲げる「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」の実現を目指してまいります。
引き続き、「元氣な桜川市」の実現に全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様には、昨年同様、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
共に、本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

CONTENTS

- 02 新年のごあいさつ
- 04 口座振替納税のご案内
いはラッキー通信vol.8
- 05 農業委員・農地利用最適化推進委員募集
- 06 地域医療情報／寄付・寄贈
- 07 まちの話題
- 08 叙勲受章
- 09 筑波山地域ジオパーク NEWS
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 年長さんご紹介

表紙

プロの技術を次の世代へ



12月1日、岩瀬ライオンズクラブと読売新聞東京本社の共催による「読売さわやか野球教室」が桜川市総合運動公園で行われました。
同教室では、読売巨人軍OBの河埜和正さん、西岡良洋さん、林昌範さんが指導を行いました。
参加した桜川市内外の約150人の児童・生徒たちは、投手と野手に分かれて、それぞれ技術を学びました。

桜川市の人口と世帯

【人口】	42,179人	(- 63)
【男】	20,918人	(- 25)
【女】	21,261人	(- 38)
【世帯】	15,348世帯	(- 2)

()は対前月増減
住民基本台帳
平成30年12月1日現在